

広島県感染症発生動向月報

[広島県感染症予防研究調査会]
(平成 28 年 6 月解析分)

1 今月のトピックス

(1) これからの時期に注意すべき感染症 ～ヘルパンギーナ～

ヘルパンギーナの定点医療機関からの患者報告数が増加しています。

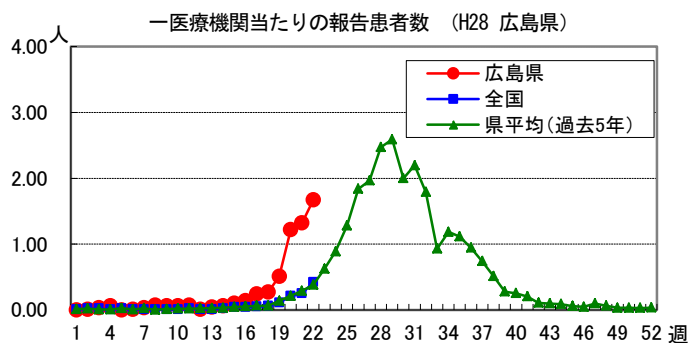
いわゆる「夏かぜ」の代表的なもので、例年、初夏から秋にかけて流行する傾向にあり、これからの時期、注意が必要です。

【病原体】主にコクサッキーウイルスA群

【症状】2～4日の潜伏期の後、突然の発熱に続いて咽頭粘膜の発赤が顕著となり、口腔内に水疱が現れる。水疱は破れて痛みも伴う。

【感染経路】接触感染、咳やくしゃみ等による飛沫感染

【予防方法】手洗い、うがいの励行。患者との密接な接触を避けること。



(2) 医療機関におけるエイズ検査事業の実施について

広島県では、エイズ感染リスクがあり感染に不安を感じた方が、希望する時にいつでも安心してエイズ検査が受けられる体制の整備を進めています。

この一環として、本年6月より、次の医療機関において、平日夕方及び土曜日のエイズ検査を開始しました（自己負担1,000円、要予約、匿名）。

医療機関名	住所	予約電話受付時間	連絡先	検査日時
おだ内科クリニック	広島市中区 幟町13-4	9:00～12:00, 14:00～18:00 (水・土曜日の午後, 日曜日・祝日を除く)	082-502-1051	要相談
藏本内科	広島市中区 大手町3-13-6	9:00～12:45 (土曜日は～11:45) 15:00～18:45 (木・土曜日の午後, 日曜日・祝日を除く)	082-504-7311	要相談

【その他】

- ・検査以外に診療等が必要な場合、別途費用が必要
- ・検査結果が「陽性」又は「判定保留」の場合、医療機関の紹介や治療の相談を実施
- ・「判定保留」等の場合に実施する、確認検査や診療等の費用は自己負担



※ 保健所（保健センター）等でも検査を実施しています
詳しい情報は、広島県のホームページをご覧ください。



広島県 エイズ 検査

検索

2 疾患別定点情報 【速報値】

(1) 定点把握(週報)五類感染症

平成28年5月分(平成28年5月2日～平成28年6月5日:5週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
1	インフルエンザ	138	0.24	0.70	↓	11	ヘルパンギーナ	359	1.00	0.22	↑
2	RSウイルス感染症	54	0.15	0.16	↔	12	流行性耳下腺炎	228	0.64	0.60	↔
3	咽頭結膜熱	271	0.75	0.86	↔	13	急性出血性結膜炎	0	0.00	0.02	
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	816	2.27	2.45	↔	14	流行性角結膜炎	77	0.85	0.86	→
5	感染性胃腸炎	2,287	6.37	7.39	↔	15	細菌性髄膜炎	2	0.02	0.01	
6	水痘	142	0.40	1.00	↔	16	無菌性髄膜炎	1	0.01	0.02	
7	手足口病	32	0.09	0.70	↔	17	マイコプラズマ肺炎	27	0.26	0.19	↔
8	伝染性紅斑	186	0.52	0.20	↔	18	クラミジア肺炎	0	0.00	0.01	
9	突発性発しん	176	0.49	0.53	→	19	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	67	0.64	-	↔
10	百日咳	3	0.01	0.05							

(2) 定点把握(月報)五類感染症

平成28年5月分(5月1日～5月31日)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
20	性器クラミジア感染症	56	2.43	2.38	↔	24	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	55	2.62	4.94	↔
21	性器ヘルペスウイルス感染症	19	0.83	0.84	↔	25	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	13	0.62	0.98	↔
22	尖圭コンジローマ	13	0.57	0.74	↔	26	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0.00	0.07	
23	淋菌感染症	22	0.96	0.98	↑						

※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当たり)

※ 報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。

※ 感染性胃腸炎(ロタウイルス)は、平成25年10月14日から届出対象となったため、過去5年平均データはありません。

発生記号(前月と比較)

急増減疾患!!(定点当たり前比2倍以上増減)

- 急増疾患 **ヘルパンギーナ** (0.13 → 1.00)
- 急増疾患 **淋菌感染症** (0.30 → 0.96)
- 急減疾患 **インフルエンザ** (2.80 → 0.24)

急増減	↑	↓	1:2以上の増減
増減	↔	↔	1:1.5～2の増減
微増減	↔	↔	1:1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

定点把握対象の五類感染症(週報対象19疾患,月報対象7疾患)について、県内178の定点医療機関からの報告を集計し、作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1	1～12	13, 14	20～23	15～19, 24～26	
定点数	43	72	19	23	21	178

3 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況 【速報値】

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一類	0	発生なし
二類	24	結核(24)〔西部保健所(2),西部東保健所(1),北部保健所(2),広島市保健所(4),呉市保健所(4),福山市保健所(11)]
三類	4	細菌性赤痢(1)〔福山市保健所(1)], 腸管出血性大腸菌感染症(3)〔東部保健所(1),呉市保健所(1),福山市保健所(1)]
四類	11	E型肝炎(1)〔広島市保健所(1)],つつが虫病(1)〔西部保健所(1)],デング熱(1)〔広島市保健所(1)], レジオネラ症(5)〔西部東保健所(2),広島市保健所(2),福山市保健所(1)], 日本紅斑熱(3)〔東部保健所(2),福山市保健所(1)]
五類全数	19	アメーバ赤痢(1)〔広島市保健所(1)], ウイルス性肝炎(A型,E型を除く)(2)〔広島市保健所(1),福山市保健所(1)], カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(5)〔西部保健所(1),東部保健所(1),北部保健所(1), 広島市保健所(2)],クロイツフェルト・ヤコブ病(1)〔広島市保健所(1)], 急性脳炎(2)〔広島市保健所(2)],劇症型溶血性レンサ球菌感染症(1)〔広島市保健所(1)], 後天性免疫不全症候群(2)〔広島市保健所(2)], 侵襲性肺炎球菌感染症(3)〔東部保健所(1),福山市保健所(2)],梅毒(2)〔広島市保健所(2)]